

神経研究所 (NIN)

霊長類マーモセットを用いた 精密な発達障害研究

微細構造研究部長 一戸 紀孝

National Institute of Neuroscience

ヒトの「こころ」は長い進化をへて生まれてきたヒト特有のものです。同時にヒトの脳も進化によって高度化・複雑化してきました。そのためヒトの「こころ」と深い関係にある精神疾患や発達障害の基礎研究にとって培養細胞やネズミの研究から得られた知見だけでは不十分です。私たち微細構造研究部はヒトと進化的に近い新世界ザル・マーモセットを用いて世界で初めて霊長類自閉症モデルを作成しました。このモデルマーモセットはこれまでのモデル動物よりも精密にヒト自閉症の脳遺伝子発現を再現し、より正確なヒト自閉症の病態の解明、バイオマーカー・治療法の開発に有用であると考えられます。私たちは統合オ

ミクス、二光子顕微鏡、電子顕微鏡を用いてヒト自閉症の背後にある病態メカニズムを調べています。またヒトとマーモセットをMRI、陽電子トモグラフィ（PET）、脳波などの非侵襲的検査をもちいて並行して研究することによって、自閉症の新しいバイオマーカーの開発を行っています。



自閉症モデルマーモセット

疫学研究を通して 精神健康増進に貢献する

公共精神健康医療研究部長 西 大輔

精神保健研究所 (NIMH)

公共精神健康医療研究部では、精神疾患からの回復や精神疾患の予防等を目的とした幅広い研究活動を行っています。まず当部が伝統的に携わってきた政策研究として、全国の精神病床をもつ医療機関、行政機関等との幅広い協働によって毎年実施しているモニタリング研究があります。昨年度からはCOVID-19感染後の心身への中長期的影響を検討する疫学研究を新たに開始し、また精神医療を提供する支援者の質の向上という観点から精神科医療機関の看護師を対象としたトラウマインフォームドケア研修の効果を検討する研究を実施しています。さらに厚労省の事業でNCNPが受託した「心のサポーター

養成事業」を事務局として運営し、これらの活動を通して、精神疾患の有無や程度にかかわらず誰もが暮らしやすい社会の実現に貢献したいと考えています。



National Institute of Mental Health

NCNP 診療ニュース

T O P I C S

東京都のてんかん支援拠点病院に 指定されました

2022.11
Vol.31



診療科紹介

総合内科 診療部

各部門紹介

地域連携医療 福祉相談室
医療機器中央 管理室

専門疾病センター紹介

パーキンソン病・ 運動障害疾患センター
筋疾患センター

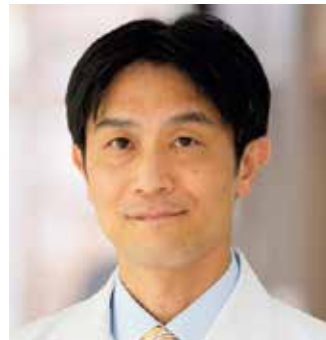
活動紹介

神経研究所
精神保健研究所

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
National Center of Neurology and Psychiatry

NCNP診療ニュース Vol.31 2022年11月発行
国立精神・神経医療研究センター病院 発行責任者：病院長 阿部康二
〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1
Tel.042-341-2711 (代表) <https://www.ncnp.go.jp/>

東京都のてんかん支援拠点病院に 指定されました



脳神経外科部長
岩崎 真樹

2022年9月1日付で、NCNP病院が東京都のてんかん支援拠点病院に指定されました。

日本のてんかん医療は、精神科、脳神経内科、脳神経外科、小児科など数多くの診療科により担われてきました。そのため、特に成人の患者さんからは「どこの診療科にかかったらよいか分からない」という声をしばしば聞きます。全国には約100万人のてんかん患者さんがいて、そのうち20～30%は発作のコントロールが難しい薬剤抵抗性てんかんとされます。専門的な診療が必要なたんかん患者さんは多く、一般の医師と専門医の連携、そして診療科同士の連携が求められます。

わが国におけるてんかんの地域診療連携を向上させる目的で、平成27年度に厚生労働省の事業として「てんかん地域診療連携体制整備事業」が始められました。この事業では、都道府県がてんかん対策を行う医療機関を「てんかん支援拠点病院」として選定し、地域のてんかん診療の中心となって活動していきます。令和4年7月末時点で23の道府県にてんかん支援拠点病院が設置されていました。このたびの東京都てんかん支援拠点病院の指定は、全国の半数を超える都道府県に本事業が拡大する節目になります。

てんかん支援拠点病院が取り組む事業には、①てんかん患者及びその家族への相談支援、②医療機関等への助言、③保健所など関係機関との連携、④医療従事者などに対する研修、⑤てんかん患者や家族を含む市民への普及啓発が含まれます。NCNP病院総合てんかんセンターは、これからてんかん診療支援コーディネーターを配置して上記の事業を進めるとともに、その効果を検証していきます。

東京都には複数のてんかん専門医療機関があり、都県を跨いだ患者さんの移動も盛んです。こういった特殊性を踏まえて、専門医療機関と一般の医師のスムーズな連携を促進したいと考えています。地域の先生方には、ぜひ本事業へのご理解ご協力を賜れますと幸いです。



てんかんを知るコラム&ニュース

てんかんセンターでは、みなさまに「てんかん」という病気について正しい知識を持っていただけるよう情報を発信します



<https://www.ncnp.go.jp/hospital/patient/special/epilepsy-column.html>

NCNP
病院
診療科紹介

総合内科診療部



NCNPにおける 総合内科診療部の取り組み



臨床検査部／総合内科 医師
佐野 輝典

2021年4月、当院の診療の幅を広げ、柔軟性を高めるため、新たに総合内科診療部が発足してから、約1年半が経過しました。

当科は、外来診療を行うとともに、当院3南病棟において病棟を持ち入院診療を行っています。内科や脳神経疾患の精査入院、緊急受診からの入院、リハビリテーション入院、レスパイト入院と幅広く柔軟に対応しています。

総合内科診療部は、循環器科1名、心療内科1名、消化器科1名、脳神経内科4名の各科専門医から構成されています。当科の脳神経内科医師は、専門は脳神経内科であることに加えて、総合内科専門医、日本脳卒中学会専門医、日本認知症学会専門医、プライマリ・ケア認定医、日本医師会産業医、厚生労働省労働衛生コンサルタントなどを有しています。内科、各種生活習慣病の受診や相談のみならず、健康診断や人間ドックの検査結果に関する相談にも対応しています。

さらに、以下の事項についても周知いただけましたら幸いです。

● COVID-19感染症後、ワクチン関連症状の診療

COVID-19感染症の関連症には精神・神経症状が多いと言われています。当院において総合内科が窓口

となって診療対応しています。こうした中で、日本中の施設に先駆けて、外来診療に訪れたコロナ感染症後遺症(long COVID)の患者さんの症状を著した論文を出すことができました(Ohira M, Sano T, Takao M. Clinical features of patients who visited the outpatient clinic for long COVID in Japan. eNeurologicalSci. 2022 Sep; 28: 100418)

● 脳ドック

2021年6月から、脳ドックを開始しています。

● 脳神経内科疾患の診療

当院における、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症/多発性硬化症、頭痛、脳卒中後遺症、しびれ・めまい症の各専門外来を担当し、入院診療を行っています。

● 循環器科、消化器科、心療内科疾患の診療

各科専門医をメンバーとして、皆で外来と入院診療を行っています。

上記以外のことでも診療に関するご相談がありましたら、総合内科診療部で対応致しますので一度お尋ね頂ければと思います。今後も、精神・神経疾患のみならず、地域医療に貢献するNCNPのため、総合内科診療部一同、精進したく考えています。

地域連携医療福祉相談室

地域連携医療福祉相談室 室長 塚本 忠

地域・関係機関との連携を心がけて



地域連携医療福祉相談室は従来の医療連携室、入退院支援室、医療福祉相談室を統合して生まれました。患者さん・ご家族、地域の関係機関の皆さん、

さらには行政とも手を携えてよりよい治療、よりよい生活が送れるよう、スピーディーに対応することを心掛けています。現在は、コロナ禍のためマスクを外して対応することはしていませんが、マスクの下はいつも笑顔です。当院の患者さんの居住地は、多摩地域が約5割、都内、埼玉県、神奈川県、千葉県が約4割となっています。ナショナルセンターとしてのミッションを果たしつつ、地域に根差した医療の提供と相談・支援の充実を目指し、関係者の皆さんとさらに密な連携がとれるよう、より一層「顔の見える関係」を作っていきたいと考えています。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



NCNP病院
各部門
紹介

医療機器中央管理室

医療機器中央管理室 臨床工学技士 安田 聖一

医療機器の専門職として診療をサポート

医療機器中央管理室は手術室・中材部に所属し、部長以下、臨床工学技士4名在籍しています。皆さんは臨床工学技士という仕事をご存知でしょうか？コメディカルの資格としては比較的新しく1987年に制定されました。医師の指示の下に生命維持管理装置の操作及び保守点検を業とする専門医療職です。当院には人工呼吸器をはじめ輸液ポンプ・ネブライザーなどの医療機器が30種類以上、約1100台の医療機器があります。これらの医療機器が常に安全に使用されるようにメンテナンスし、また操作等の臨床支援を行っています。そして当院では神経筋免疫疾患の患者さんに対する血液浄化療法を多く行っており、血液浄化装置の機械操作も重要な仕事となっています。これからも、医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献していきますのでよろしくお願い申し上げます。



パーキンソン病・運動障害疾患センター

パーキンソン病・運動障害疾患センター長
脳神経内科部長 高橋 祐二

ようこそPMDセンターへ！



パーキンソン病・運動障害疾患(PMD)センターでは、パーキンソン病やその類縁疾患など幅広い疾患を対象として診療、研究開発などを行っています。看護師や薬剤師、栄養士やソーシャルワーカーなど幅広い分野にわたる多職種連携により患者さんの生活の質の向上を目指し、NCNP各部門や国内外の施設との連携により、疾患の克服を目指した研究を行っています。

ブラッシュアップ入院による定期的な評価で患者さんの状態を正確に把握し、薬物療法を中心に外科治療やリハビリテーションを組み合わせ、一人一人に最適な治療法を検討します。特徴としては、L-ドパ持続経腸療法(LCIG)、脳深部刺激療法(DBS)などのデバイス補助療法(DAT)、パーキンソン病の腰曲がり治療(MADI)を実施しており、リハビリでは脊髄小脳変性症やパーキンソン病へ独自性のあるプログラムを提供しています。

疾患の啓発活動として今年もハイブリッド形式での市民公開講座を開催し、現地参加・Web視聴合わせて130名を超える皆様にご参加いただきました。地域の医療機関とも緊密に連携しておりますので、是非、当院のPMDセンターを積極的にご利用ください。お困りのことがございましたらお気軽に御相談をお待ちしております。

治療法を検討します。特徴としては、L-ドパ持続経腸療法(LCIG)、脳深部刺激療法(DBS)などのデバイス補助療法(DAT)、パーキンソン病の腰曲がり治療(MADI)を実施しており、リハビリでは脊髄小脳変性症やパーキンソン病へ独自性のあるプログラムを提供しています。

疾患の啓発活動として今年もハイブリッド形式での市民公開講座を開催し、現地参加・Web視聴合わせて130名を超える皆様にご参加いただきました。

地域の医療機関とも緊密に連携しておりますので、是非、当院のPMDセンターを積極的にご利用ください。

お困りのことがございましたらお気軽に御相談をお待ちしております。



市民公開講座 会場の様子

専門疾病センター

NCNP病院には現在12の専門疾病センターがあります。診療科や専門分野を超えたチームにより高度専門的医療を行います。

筋疾患センター

筋疾患センター長
トランスレーショナル・メディカルセンター長 小牧 宏文

多部門が連携し先駆的な診療、研究を展開



多部門が連携し最新の知見に基づき診療や研究を行っています。NCNPは長年にわたる筋疾患の診療、研究の実績を有しており、それらの経験をもとに筋疾患の医療向上を目指した活動を行っています。専門外来を開設しており、日本で最も多く筋疾患の診療を担当している病院の一つであり全国各地から患者さんが受診されています。小児から成人まですべての年齢で診療が可能です。NCNPは筋ジストロフィーを対象とした医薬品の開発でも中心的な役割を担っており、2020年に承認されたデュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療薬ビルテプソの開発にも大きく貢献しています。

小児から成人まですべての年齢で診療が可能です。NCNPは筋ジストロフィーを対象とした医薬品の開発でも中心的な役割を担っており、2020年に承認されたデュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療薬ビルテプソの開発にも大きく貢献しています。

第18回 筋ジストロフィー 市民公開講座 Web開催
2022 7.2 13:00~
プログラム
13:00 デュシェンヌ型筋ジストロフィーの最新研究の現状 小牧 宏文
13:15 筋ジストロフィーの最新と最新治療について 小牧 宏文
13:30 筋ジストロフィーの最新研究について 本橋 毅子
13:50 産科的問題について 福本 聡
14:15 筋ジストロフィーの最新研究 Realyの現状も踏まえて 中村 和也
14:30 休憩
15:00 筋ジストロフィーのリハビリテーション治療 中村 和也
15:15 筋疾患における親と子の対話 小笠原 悠
15:30 デュシェンヌ型筋ジストロフィー-筋無力症について 上村 孝幸子
400名
事前登録 URL: <https://forms.gle/vDG3panNpSnQo5ZA>
事前参加登録期限: 2022年6月25日
ndcenter@ncnp.go.jp
〒118-8501 東京都小平市小川町4-1-1
第18回筋ジストロフィー市民公開講座事務局
主催 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 筋疾患センター

2022年7月に実施した市民公開講座のパンフレット、来年も実施予定です。

ロボットスーツHAL®をご紹介します。

整形外科医長 松井 彩乃



ロボットスーツHAL® (Hybrid Assistive Limb®) は、運動を意図した際に発生する「生体電位信号」を読み取り、装着した

人の思い通りに動くことで歩行運動等の身体機能を補助、拡張、改善する事が出来る装着型サイボーグです。当院はHAL®両下肢タイプによるサイバニクス治療の効果を検証する治験「NCY-3001試験」(治験調整医師 国立新潟病院 中島孝先生)に参加し、2015年の医療機器承認、

2016年に8つの神経筋疾患に対する「歩行運動処置」の医療保険適応に貢献しました。

ロボットスーツHAL®の医療保険適応疾患は以下の通りです。

*歩行運動処置

「脊髄性筋萎縮症」「球脊髄性筋萎縮症」「筋萎縮性側索硬化症」「Charcot-Marie-Tooth病」「筋ジストロフィー」「遠位型ミオパチー」「先天性ミオパチー」「封入体筋炎」

HAL®の実施医療機関などご興味ある方は遠慮なくご相談ください。

ご存じですか? NCNP 及び NCNP 病院 公式アカウント



https://twitter.com/NCNP_PR



ぜひ、フォロー・チャンネル登録を
お願いします!!



<https://www.youtube.com/user/NCNPchannel>



<https://www.instagram.com/ncnp.pr/> NCNP公式

https://www.instagram.com/ncnp_hospital/ 院長室



NCNP公式



院長室

NCNPプレスリリース (<https://www.ncnp.go.jp/topics/>)

- 統合失調症の社会認知機能を経頭蓋直流刺激で改善 ~精神疾患を対象とした特定臨床研究~
- 自閉症小児が周囲の人を見ないことが、社会脳の発達を障害する可能性を示唆 -早期行動療法の開発に有用か-
- 不安の進化に関わる分子メカニズムの一端を解明 ヒト型遺伝子変異導入マウスを用いた検証
- 新規MRI技術で利き手の神経制御メカニズムを解明 ~手指運動中の脳・脊髄機能結合パターンの左右差を世界で初めて計測~
- Brain-Computer Interface 操作の得手不得
- 手に関わる脳回路を発見 -操作を「考える」か「感じる」か、個人差に合わせた技術開発へ期待-
- 脳卒中の回復評価法を神経活動変化から再検証 ~神経メカニズムに基づく脳卒中回復評価への応用に期待~
- 難治てんかん焦点の新しいバイオマーカー「発作時DC電位」-国内5施設の共同研究での世界初の成果-
- 自己反応性ヘルパーT細胞の識別マーカー分子の同定~副作用のない自己免疫疾患の根本治療への道を拓く新たな成果~

無料シャトルバス 10月1日 ダイヤ改正

当院では、患者さん・付添ご家族等の通院等における利便性向上のため運行している無料シャトルバスのダイヤ改正を行います。



シャトルバス運行時間

○平日8時15分~16時20分

バス停留所

●NCNP病院:病院外来ロータリー

タクシー乗り場横

●JR 武蔵野線 新小平駅:青梅街道沿い

都営バス停留所(新小平駅前)前

●西武鉄道 萩山駅:南口ロータリー前

お問い合わせ 広報室 内線:5601



JR新小平方面			西武新宿線 萩山駅方面		
	新小平駅発	当院発	当院発	萩山駅発	
8時	15 45			30	
9時	20	10 50	40	00 45	
10時	00 30	20 50	10 40	15 45	
11時	00 30	20	10	15	
12時	30	50	40	45	
13時	00 30	20 50	10 40	15 45	
14時	00 30	20 50	10 40	15 45	
15時	00	50	10	15	
16時	00	20	10	15	



Nature

NCNP四季便り

情報システム顧問 永井 秀明

ヒヨドリジョウゴ(鴨上戸)

ヒヨドリが好んで食べるから、というのが名前の由来。夏の終わりごろ小さな緑色の実をつけ、秋が深まると赤く色づきます。

つやつやの赤い実は、まるで完熟トマトのようでも美味しそうです。

それもそのはず、トマトと同じナス科の植物なのです。でもヒトには有毒な成分が含まれていて、食べられません。

ヒヨドリのご馳走です。

そっとしておきましょう。



↑ヒヨドリジョウゴ夏



←ヒヨドリジョウゴ秋